

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化の振興				整理番号	123		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	119	
係名					文化振興担当係			上位施策名		No	
予算事業名					文化・交流の推進		コード	12050		文化・芸術活動の推進	65
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		年度				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化行政推進委員会設置要綱 (2) 杉並区後援名義の使用承認事務取扱要綱 (3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				アート・コレクション(区民ギャラリーの提供)、日本フィルとの友好提携事業、学校音楽祭等、文化・芸術事業の実施、区民や団体が行う文化・芸術活動の共催・後援等を行う。						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
				(1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数		(1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数					
				(2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数		(2) 後援・共催により実施した事業の参加者数					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績		22年度			
指標	活動指標(1)		回	34	48	34	35	40	40	87.5	
	活動指標(2)		件	46	55	50	53	60	60	88.3	
	成果指標(1)		人	11,753	12,362	12,000	10,887	13,000	13,000	83.7	
	成果指標(2)		人	67,986	73,139	70,000	70,280	75,000	95,000	74.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,017	12,615	2,035	1,041	25,297	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度計画の事業費が17年度に対し大きく増額されているのは、アート公募展(3年に1回)事業費、公会堂利用料負担金があるため。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.39	1.67	1.40	1.65	1.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	12,502	15,197	12,684	14,949			13,590
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	17,519	27,812	14,719	15,990	38,887			
	単位あたりコスト(-)÷		円	515,265	579,417	432,912	456,857	972,175			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	17,519	27,812	14,719	15,990	38,887				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		日本フィル区役所ロビーコンサート					2	件	315,000		
		アートコレクション					1	件	66,536		
		日本フィル公開リハーサル、出張コンサート等					29	件	0		
		その他 ()							(380,495)		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	102.9	活動指標(2)の17年度達成率%	106.0	17年度予算執行率%	51.2
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		日本フィルとの今後の友好提携事業は、鑑賞機会の提供を中心としたものに加え文化・芸術振興の観点から、音楽のワークショップなど地域還元のための事業を発展させることについて協議を続けている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	社会経済の成熟化に伴い、区民等の文化・芸術活動や交流活動が活発になってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日本フィルとの各種提携事業は、各種コンサート、公開リハーサル、出張音楽教室等、地域に定着している。身近に優れた音楽に触れることのできる場を提供しており、区民にも好評である。					
	今後の予測	社会経済の成熟化が進展し、区民等の文化・芸術活動や交流活動がより一層活発になることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が身近なところで文化・芸術に触れることができる機会の提供により、文化・芸術の薫り高いまちづくりの一翼を担っており、文化区すぎなみの実現施策に対する貢献度は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 具体的内容: 日本フィルのリハーサルの公開の回数を増やし音楽に親しむ機会を増やす。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 友好提携事業である公開リハーサル・出張音楽教室は、日本フィルから無償提供、ロビーコンサートは低廉価格で提供されているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区が実施している文化事業は無償もしくは、低廉な価格で提供されている。また、その他事業費についても必要最小限のコストで実施しているため、削減の余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	今後の具体的な取り組み: 杉並区文化協会と役割を明確にし、協働して文化芸術の振興を総合的に推進していく。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並公会堂における事業の拡充、また、平成20年度の杉並芸術会館のオープンに向けた新たな事業展開を図る。
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2) 理由 杉並公会堂が平成18年6月にオープンし、公会堂を中核にした様々な事業を展開していくため。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化・交流協会				整理番号	127		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	123	
係名					文化振興担当係			上位施策名		No	
予算事業名					杉並区文化・交流協会助成		コード	12100		文化・芸術活動の推進	65
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化・交流協会補助金交付要綱				
	区民、文化・芸術・交流団体						(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区文化・交流協会に対し、文化・交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
						区民の文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、国内外の都市との交流が促進され、区民の文化・芸術活動並びに交流活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する。					
活動指標名(式)				(1) 区補助金額 / 協会歳入決算額		(2) 協会会員数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
								(1) 協会会員数対前年伸び率			
								(2)			
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績		22年度			
指標	活動指標(1)		%	62	56	65	59	68			
	活動指標(2)		人	1,359	1,298	1,350	1,204	1,300	1,400	86.0	
	成果指標(1)		%	5.4	-4.5	4.0	-7.2	7			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	60,252	58,114	70,759	58,235	67,807	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度計画は、文化協会のみ(分離した交流協会分は含めない)数値。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	8.43	8.63	7.32	7.77	4.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	75,819	78,533	66,319	70,396			36,240
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	136,071	136,647	137,078	128,631	104,047			
	単位あたりコスト(-)÷		円	2,194,694	2,440,125	2,108,892	2,180,186	1,530,103			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	136,071	136,647	137,078	128,631	104,047				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			その他		()						58,235

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	90.8	活動指標(2)の17年度達成率%	89.2	17年度予算執行率%	82.3
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	社会経済の成熟化に伴い、区民等の文化・芸術活動や交流活動が活発になってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近なところで低廉な料金で、優れた文化・芸術に触れることができる機会がほしい。また、異文化を理解し人と人とのふれあいも体験できる交流の機会を拡充してほしい。				
	今後の予測	社会経済の成熟化が進展し、区民等の文化・芸術活動や交流活動がより一層活発になることが予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区からの補助金により、協会の事業は円滑に行われており、区民の文化・交流活動に寄与している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事業の実施方法も含めて見直しを行ない、区民・団体の活動支援に重点を置き、自主事業については協会で行なければならない特色のある企画に限って取り組む。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 協会事業は低廉な価格で優れた文化・芸術の提供や交流の支援を行っているが、近年、負担額は据え置きにしているため、負担額を見直しすることも可能と思われる。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 文化協会と交流協会に分離し、専門性を高め、組織体制と事業の見直しが図られることにより、より低コスト化が可能となる。				
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	今後の具体的な取り組み: 協会事業情報だけでなく、文化情報のポータルサイトとして発展させるため、HPの運営管理を引き続き委託するとともに、チケット販売の充実及び効率化を図るため、チケットシステムの構築を委託する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文化協会と交流協会の分離により、主催事業、共催・後援事業、体制について見直しを行ない、コスト減を目指すとともに、組織基盤を強化する。特に文化協会については、今後、国の公益法人制度の改革の動きを注視しながら、法人化についても慎重に検討を進めていく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 事業を精査する。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護審議会運営				整理番号	792		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	787				
係名				文化財係		上位施策名				No					
予算事業名				文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進		65				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 文化財保護法								
	区内の有形・無形の文化財						(2) 杉並区文化財保護条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				教育委員会の諮問に応じ、文化財の保護・活用について、調査・審議及び建議をする。審議会委員 現員9名		(3) 事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の文化財として指定・登録することにより、文化財の保護と活用が適切に行われるようにする。専門家の立場から、区の文化財行政に関し、適切な助言・建議を貰う。								
活動指標名(式)				(1) 文化財保護審議会の開催数 (2) 審議会での審議件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 審議会成立回数 ÷ 審議会開催予定回数 (2) 審議会答申・建議件数 ÷ 審議会諮問件数									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画		実績		22年度				
指標	活動指標(1)		回	10		6		6		6		8	75.0		
	活動指標(2)		件	4		3		3		5		3	5	100.0	
	成果指標(1)		%	125		100		100		100		100	100.0		
	成果指標(2)		%	125		100		100		100		150	66.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	732		432		864		348		864		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0			
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.31	0.75	0.30	0.60	0.30	0.10	0.30	0.10	0.30	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,788		2,730		2,718		2,718		2,718		
		非常勤職員分		千円	2,069		1,728		289		289		289		
	総事業費 + +		千円	5,589		4,890		3,871		3,355		3,871			
	単位あたりコスト(-)÷		円	558,900		815,000		645,167		559,167		645,167			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	5,589		4,890		3,871		3,355		3,871				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		文化財保護審議会の開催						6	回	348					
		その他 ()								0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	166.7	17年度予算執行率%	40.3
		指定登録文化財の選定・決定等の審議が、速やかに進行したため、最低限の開催で済んだ。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度と同様に、審議会自体を効率的に開催し、少ない回数でより成果が上がる運営を行うよう努める。 また、区からの諮問内容だけでなく、文化財行政に対して、より積極的な意見、建議などをいただけるよう促していく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財保護審議会は、昭和57年の発足以来、毎年、区の指定登録文化財の調査・審議を行っており、現在、127件の文化財を登録し、そのうち74件を区指定文化財としてきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化への区民の関心は高まっており、文化財保護審議会に対する区民の期待も高まっている。					
	今後の予測	区民の文化財に対する関心の高まりもあり、文化財の指定登録だけでなく、文化財保護行政全般に対する答申・建議等が増えていくことが期待される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高度な専門的能力・知識を有する審議会委員が文化財について調査・審議することにより、区の伝統的な文化資源が適切に保護・継承されて、質の高い文化財保護行政の遂行が期待できるため					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 審議会委員は現在、定員12名以内のところ9名で構成している。記念物等の自然系の専門家が不在で、指定・登録物件に偏りがみられる。より広い視野で文化財選定を行い成果を向上させるには委員の人数(分野)を増やす必要がある。 理由または具体的内容: 成果向上のためには、審議会委員を増員し、記念物等の自然系の専門家なども入れ、より広い視野で文化財選定を行うと同時に、広い視野から区の文化財行政に必要な助言等を貰うことが必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 審議会等の委員報酬は区としての基準があるため。					
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について教育委員会に建議する。 具体的には ア 区文化財の登録・指定及びこれらの解除。イ 区登録・指定無形文化財の保持者又は保持団体の認定・解除等。ウ その他 これらに対して、区内文化財に関して詳しい学識経験者から意見もらうことで、文化財保護行政が円滑に行われている。						
(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より広い視野で文化財の選定を行い成果を向上させるには記念物などの自然系の専門家も招聘し、委員の人数を増やし分野を多様化する必要がある。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員の人数を増やすためには、それだけ予算増が見込まれる。また、杉並区の状況に詳しい各分野の専門家が少ない。そして、委員の高齢化が進んでおり、これについては、委員の定年制も視野に入れて検討したい。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	早期の委員増員の実現は困難な状況であり、現行の体制で運営していくのが妥当であるため。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護の啓発				整理番号	793		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710	連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	788		
係名 文化財係					上位施策名				No			
予算事業名 文化財調査・保護					コード	81400		文化・芸術活動の推進			65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区文化財保護条例							
	区民一般				(2) 同施行規則							
					(3) 文化財保護ボランティア要綱							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
文化財保護指導員・文化財保護ボランティアを各地域に配置し、区内文化財・案内標示板等の見回り、区民へ文化財保護思想の普及や、文化財所有者への助言などを行い、文化財が適正に保護されるようにしていく。					文化財保護ボランティア・文化財保護指導員等を各地域に配置し、区内文化財・案内標示板等の見回り、区民へ文化財保護思想の普及や、文化財所有者への助言などを行い、文化財が適正に保護されるようにしていく。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 文化財保護指導員の現人数					(1) 指導員からの報告件数 ÷ 指導員数							
(2) 文化財保護ボランティアの人数					(2) ボランティアの活動実績(報告)件数 ÷ ボランティア数							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%
							計画		実績		22年度	
指標	活動指標(1)		人	7	6	6	6	5	5	5	120.0	
	活動指標(2)		人	0	0	10	13	13	30	43.3		
	成果指標(1)		%	29	33	100	66	100	100	66.0		
	成果指標(2)		%	0	0	100	115	150	150	76.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	235	202	274	267	478	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20 0.10	0.80 0.30	0.80 0.30	0.80 0.30	1.00 0.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799	7,280	7,248	7,248	9,060			
		非常勤職員分		千円	276	864	867	867	867			
	総事業費 + +		千円	2,310	8,346	8,389	8,382	10,405				
	単位あたりコスト(-)÷		円	330,000	1,391,000	1,398,167	1,397,000	2,081,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,310	8,346	8,389	8,382	10,405					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			文化財保護ボランティアの発足、活動				13	人	29			
			文化財保護ボランティアの研修会開催				2	回	40			
			文化財保護指導員の活動				6	人	198			
			その他 ()						0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	130.0	17年度予算執行率%	97.4
		文化財保護ボランティアが発足し、計画どおりの予算執行をした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民との協働が進む中、高齢化し減少した保護指導員に代わるものとして、17年度に文化財保護ボランティア制度を立ち上げた。ボランティアについては、文化財標示板の巡視、史跡見学会などの自主開催及び文化財調査を依頼している代わりに、年間数回の研修会などを開催した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初21名いた指導員は、地域の古いことを知っている方々を任命しているため、高齢化などにより減少し、その補充もままならない状況である。区民との協働が推進される中で、文化財(標示板等含む)の見回りや、区民への啓発活動及び文化財の分布調査などはボランティア活動として推進する方向で動き始めている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	文化財に対する区民の興味関心は高まっており、事業を積極的に進めることで、ますます区民の文化財保護に対する関心が高まると想定できる。					
	今後の予測	現在任命している保護指導員も高齢化が進み、このままでは指導員制度が機能しなくなる可能性が大である。しかし、文化財に興味を持ち、自ら守っていききたいという意識と向上心のある区民は地域に潜在しており、これを文化財保護ボランティアとして養成し、そのボランティアと協働することで、文化財保護思想の普及活動は拡大できると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 文化財保護ボランティアの制度が立ち上がったことにより、区民との協働による文化財保護行政の円滑かつ緻密な、地域に根ざした活動としてゆくことが可能になった。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: さらに文化財保護ボランティアの養成を進め、育ててゆくことで、成果を向上することができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: ボランティア制度の導入に伴い、ボランティア養成及び活動中のボランティアに対する研修にかかる経費など必要最小限のコストは増える。しかしそれによってコストパフォーマンスの高い効果が期待できる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 区と文化財保護ボランティアの協働により、地域に根ざした文化財保護運動が可能になった。ボランティアは地域で、自主見学会の開催、文化財標柱・標示板の点検などを行い、区はボランティアに対して、調査への参加、研修会の開催などの学習の機会を提供するというギブアンドテイクの関係を保持してゆくことが望ましい。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文化財保護ボランティアの制度は発足したばかりのため、とりあえずは現状のまま進め、問題点などが生じた際に改めて検討する。将来的にはボランティアに行ってもらい調査の成果を文化財シリーズとして刊行することも見据えて活動を展開してゆく。現行では文化財保護ボランティアの任期は2年(再任可)のため、それに合わせてボランティアの養成講座も隔年で行うことが望ましい。また、将来的にはこうした養成講座を区として一本化してゆくために「すぎなみ地域大学」の講座の一つとして位置付けてゆくことも考えられる。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 今年度(18年度)に文化財保護ボランティアの養成講座を行う。19年度はボランティアの更新年度となるため、今年度講座を修了する方々に呼びかけ、文化財保護ボランティアの活動を理解してもらい、積極的にボランティアに参加してもらおうと呼びかけ、文化財保護ボランティアの増員を図る。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		出版物・標示板等の作成				整理番号	794		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710	連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	789	
係名					文化財係		上位施策名			No	
予算事業名					文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進	65
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例				
	区内文化財						(2)				
	区内文化財						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
区内の文化財を周知するため、文化財についての冊子を刊行し、また文化財等の所在地に案内標示板や標柱を設置し、文化財保護の啓発を行う。						文化財を保護・継承するため、文化財の意義や特徴について、区民に周知する。					
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 文化財関係出版物の発行部数						(1) 文化財関係出版物発行部数 ÷ 同発行予定部数					
(2) 文化財案内標示板・標柱の設置件数						(2) 文化財案内標示板・標柱の設置・改修基数 ÷ 同予定件数					
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)		部	3,000	1,000	4,000	5,000	2,500	3,000	166.7	
	活動指標(2)		基	5	2	2	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)		%	300	100	100	125	100	100	125.0	
	成果指標(2)		%	125	100	100	150	100	100	150.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,782	1,122	2,849	2,303	1,134	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	669	645	482	673	882			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.75 0.50	0.60 0.30	0.70 0.50	0.70 0.50	0.50 0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,746	5,460	6,342	6,342	4,530		
		非常勤職員分		千円	1,380	864	1,445	1,445	578		
	総事業費 + +		千円	9,908	7,446	10,636	10,090	6,242			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	3,303	7,446	2,659	2,018	2,497			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	9,908	7,446	10,636	10,090	6,242				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			文化財案内標示板修理・移設				3	件	673		
			文化財シリーズ刊行				1,000	部	980		
			17年度指定登録文化財刊行				1000部	部	200		
			史跡散歩地図、埋蔵文化財保護の手引き印刷・製本				2,000	部	450		
			その他 ()					0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	125.0	活動指標(2)の17年度達成率%	150.0	17年度予算執行率%	80.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度の指定登録状況から建てるべき指定文化財標柱は0件であったが、区民要望などによる標示板の移設及び標示板の修理不能の標柱の立替えがあった。また、刊行物では、長年抱えていた原稿を無事刊行することができた他、埋蔵文化財保護の手引きの不足から急遽前倒しで浄書印刷により改訂版を刊行した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和45年、「文化財シリーズ」を刊行して以降、区が新たに指定登録した文化財を解説した「杉並区の指定登録文化財」や「文化財保護の手引き」、「杉並区歴史散歩地図」等を随時刊行している。また、昭和53年から平成17年度末までに、文化財の所在地に文化財案内標示板を151基、標柱を51基設置している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化への区民の関心は強い。したがって、本事業に対する区民の期待は高まっている。こうした中で、文化財案内標示板・標柱が風化・劣化し内容が読めないとの苦情が何件が入っている。また、新しい標示板を建ててほしいという要望や、過去の刊行した文化財シリーズで、品切れになっているものがほしいという要望もある。					
	今後の予測	毎年3～4件の文化財の指定登録が行われるため、今後もこのペースでの標柱の設置が予測される。標示板については、風化して読めなくなった標示板の盤面改修を優先的に行っていく。「杉並区の指定登録文化財」は、今後も、毎年刊行していく。また、その他の刊行物も計画的に刊行していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の文化財を区民に周知することにより、区民の文化財に対する関心を高めている。したがって、施策への貢献度は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 内容を吟味しより区民が利用しやすい冊子の刊行、標示板の文面の検討をしていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 「文化財シリーズ」はすでに有償頒布である。また区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 18年度から実施するが、浄書印刷でカラー印刷ができることになったことなどにより、「文化財保護の手引き」や「埋蔵文化財保護の手引き」を浄書印刷にすることで、経費を削減する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 出版物・標示板の作成については、区の文化財保護についての啓発や情報提供であるため、区が行う必要があり、協働にはなじまない。但し、既存の標示板等の巡回・確認及び刊行物作成のために調査などは17年度に立ち上げたボランティアを協働の相手方とし、事業の協力体制を作ることには可能である。17年度中にその試行として力石の悉皆調査を行った。今後はそうした事業協力をすすめる。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の文化財・埋蔵文化財を紹介・解説する各種刊行物の発行部数について精査し、最適な部数を追及する。今後設置・改修する文化財案内標示板・標柱の規格(品質・材質)等に統一性を持たせ、区民が見やすい文化財案内標示板・標柱の設置・改修に努める。また、現在絶版となっている文化財シリーズなどについても区民の要望を捉え、適宜再刊してゆく必要がある。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の文化財・埋蔵文化財を紹介・解説する各種刊行物の発行部数については、直ちに捉えがたい側面もあるが、配布先等を精査して、最適な部数を追及していく。文化財案内標示板・標柱は、現在でも低価格で契約しているため、これ以上のコスト低減が可能か否かが困難な側面が強いが、より低コストで対応できるよう素材や技術面も含めて検討していく。	
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現状維持とする。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録文化財保護奨励金				整理番号	795		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	790					
係名					文化財係		上位施策名		No						
予算事業名					文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進	65				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例								
	杉並区指定・登録文化財の所有者・保持団体等						(2) 杉並区文化財保護奨励金交付要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区指定・登録文化財の保護を奨励するため、その所有者・保持団体等に対して、奨励金を交付する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)				(1) 文化財保護奨励金の支出件数 (2) 文化財保護奨励金の支出金額		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 支出件数の前年度比 (2) 支出金額の前年度比									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画		実績		22年度				
指標	活動指標(1)		件	100		103		103		103		108	115	89.6	
	活動指標(2)		円	1,572,500		1,607,500		1,610,000		1,607,500		1,687,500	1,900,000	84.6	
	成果指標(1)		%	103		100		100		100		105	102	98.0	
	成果指標(2)		%	101		100		100		100		105	105	95.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,573		1,610		1,608		1,608		1,688	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0			
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30			0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799		2,730		2,718		2,718				2,718
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0				0
	総事業費 + +		千円	3,372		4,340		4,326		4,326		4,406			
	単位あたりコスト(-)÷		円	33,720		42,136		42,000		42,000		40,796			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	3,372		4,340		4,326		4,326		4,406				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位	事業費(千円)				
		文化財保護奨励金の支出						103		件	1,608				
		その他 ()									0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	99.8	17年度予算執行率%	100.0
		予定どおりの支出件数であった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度も従来どおりの支出を行なう。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の文化財保護制度が始まって以来、指定登録文化財は年々増えており、それに伴い支出件数及び金額は年々微増している。このため、平成12年度に一度交付金の支出額の見直しを行い、支出金額の総価を下げたが、そこからまた微増している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	奨励金の交付は、所有者に歓迎されており、これにより文化財保護の意識は高まっている。また、文化財保護の経費として使用されているため、指定登録物件の保護にも役立っている。					
	今後の予測	16年度の指定登録文化財は、区所有物の指定が2件、追加指定が2件のため、17年度については奨励金支出額の増は無なかったが、17年度は指定2件、登録3件がすべて民間の所有のため、約80千円の増となった。例年3~4件の文化財指定登録が行われており、今後も例年どおりのペースで推移するものと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:奨励金を交付することにより、所有者の文化財保護に対する高い意識が保持されている。また、準公共財産である文化財の保護のために費用を区で賄うことは区の責務である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:補助金単価の減額だけでなく制度自体を見直し、一律の単価で交付するのではなく必要に応じた奨励金の交付を行うことにより、文化財の保護をより確実にしていくことは可能と考える。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:区指定登録文化財の所有者等は、当該文化財に対する管理義務等の制約を受けるため、受益者とは言いがたく、受益率の測定も困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:軽微な修理・保存措置など、必要に応じた奨励金の交付と並行して行わなければ、ただの経費削減と見られ、文化財所有者や区民の信用を損ねる可能性がある。現行の予算を有効に活用し、積極的な文化財保護の奨励を行うことが必要。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:区の指定登録文化財は、準公共財産であり、これを保護・継承することであるから、区が奨励金を支出する必要がある。奨励金は、区登録・指定文化財の所有者・保持者・保持団体で当該文化財の保護・保存又は公開等の活動を行った者に対して交付しているため、文化財所有者は、それぞれの文化財保護のために奨励金を有効に活用している。金額については、個々の文化財によって別に定めている。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度に要綱改正と併せて奨励金制度を見直し、奨励金を一律交付するのではなく必要に応じて交付する制度に変革する。指定文化財等補助の事業とリンクさせていくことにより、文化財保護の意識を維持すると同時に、早期の劣化防止、保存処理が行えれば、指定文化財補助の経費を軽減することが可能である。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 奨励金制度自体の見直しとなるため、文化財所有者などの理解を得ながら、慎重に行っていく必要がある。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 制度を変えるにしても、少なくとも現行の予算額の算出基準を変更することなく、その枠の中でのやりくりにより必要に応じた金額の交付を考えるため。これにより、18年度の指定・登録文化財の増加状況により、若干の予算増が見込まれるため。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土芸能大会				整理番号	796		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	791				
係名		文化財係				上位施策名			No						
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進			65					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例										
	一般区民				(2) 杉並区文化財保護条例施行規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並郷土芸能保存会及び杉並郷土史会のそれぞれが主催する杉並郷土芸能大会及び史跡散歩に対し、それぞれ共催分担当金を交付し、区の郷土芸能及び史跡等が区民になじみあるものとなるような機会をつくる。		(3)										
活動指標名(式)		(1) 郷土芸能大会の入場者数		(2) 郷土芸能大会参加団体の会員数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 古くから杉並の各地域に伝承されている無形民俗文化財等の郷土芸能を、区民に無料公開することにより、無形文化財に対する区民の興味・関心を高め、伝統芸能の保存団体には発表の場を保障することで、郷土芸能存続の一助とする。また、史跡散歩事業をとおして、区内の歴史や自然を学ぶ一助とする。									
						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 郷土芸能大会の入場者数 ÷ 杉並区民人口 (2) 郷土芸能大会参加団体の会員総数の前年度比									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	187		230		568		257		300	600	42.8	
	活動指標(2)		人	243		243		250		243		250	300	81.0	
	成果指標(1)		%	0.03		0.04		0.05		0.04		0.05	0.06	66.7	
	成果指標(2)		%	100		100		103		100		103	120	83.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	428		428		428		428		428	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0			
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,677		4,550		4,530		4,530		4,530		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	5,105		4,978		4,958		4,958		4,958			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	27,299		21,643		8,729		19,292		16,527			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	5,105		4,978		4,958		4,958		4,958				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)						
		郷土芸能大会の共催					1	回	400						
		文化財ウィークに伴う郷土史会事業(区内史跡めぐり)の共催					1	回	28						
		その他 ()							0						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	45.2	活動指標(2)の17年度達成率%	97.2	17年度予算執行率%	100.0
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	従来どおり、計画どおりの執行をした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	郷土芸能大会はPR活動をより積極的に行い、入場者数の増加を図る。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	郷土芸能大会は昭和59年度の第1回大会開催以来、毎年1回(ただし、昭和60年度は、未実施)、一般区民に無料で公開している。また、史跡散歩事業は東京都の文化財ウィーク事業の中で取り組んできた事業で平成10年(第1回文化財ウィーク事業)から毎年度実施している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	郷土の伝統芸能が継承されていることに対して、「感嘆した」「感動した」等の声が多く聞かれた。また、史跡散歩事業については、年に3～4回実施してほしいという声がある。				
	今後の予測	郷土芸能大会に参加する団体は後継者難もあるが、小・中学生の新たな参加もあり、杉並の郷土芸能は着実に継承されていくと予測される。また、史跡散歩事業も毎年実施していく必要があると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 郷土の伝統芸能を、年1回、区民に無料で公開することにより、区民の郷土芸能に対する関心を高めている。また、史跡散歩事業は参加希望者が非常に多い。したがって、施策への貢献度は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ポスター等で事業の周知を図っているが、人の口から人の耳へのより強い働きかけをしていく。各学校で公演等を実施することを計り促進し、郷土芸能が子どもたちにより身近な存在となるようにしていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 郷土芸能大会開催に伴う主催者(杉並郷土芸能保存会)の時間的・経済的負担は大きく、受益者とは言いがたい。また、受益率の測定も困難である。また、普及が目的のため、受益者負担による入場料などの徴集はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 郷土芸能の公開に際して、出演者や上演時間を圧縮することは不可能であり、コスト削減は困難である。				
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 区との共催事業であり、区では共催分担金を支出している。また、職員も準備段階から参加している。今後もこの状態を維持してゆくことが望ましい。					
(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 郷土芸能大会においては、PR活動の方法をより多様化し、入場者数の増加をめざす。実演者としての子どもの参加増をめざす。	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ポスター・プログラム・区の広報掲載等周知用媒体の活用は勿論であるが、口から耳への口コミの実行が入場者増へのカギを握っている。 学校教育の場においても、郷土芸能に関する取り組みを導入してもらおう働きかけてゆく。				
19年度方針	(1) 19年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	毎年、同規模での実施を考えているため。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録候補等調査委託				整理番号	797		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	792				
係名				文化財係				上位施策名		No					
予算事業名				文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進		65				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 文化財保護法								
	区内の有形・無形の文化財						(2) 杉並区文化財保護条例								
	区内の有形・無形の文化財						(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内の指定登録文化財候補物件の調査を行い、文化財保護審議会で審議するための材料を調える。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
活動指標名(式)				(1) 文化財調査委託の件数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 文化財調査委託の件数 ÷ 指定登録候補物件数 (2)							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画		実績		22年度				
指標	活動指標(1)		件	3		5		3		5		4	125.0		
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	100		167		100		167		133	90.2		
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	300		400		400		8,400		5,400		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度(補正)及び18年度に、区に寄贈された角川邸動産資料の調査が入った。	
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0			
	(内)委託費		千円	300		400		400		8,400		5,400			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	0.50	0.85	1.00	0.85	0.80	0.90	0.70	1.00	1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,677		7,735		7,701		8,154		9,060		
		非常勤職員分		千円	1,380		2,880		2,312		2,023		2,890		
	総事業費 ++		千円	6,357		11,015		10,413		18,577		17,350			
	単位あたりコスト(-)÷		円	2,119,000		2,203,000		3,471,000		3,715,400		3,470,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	6,357		11,015		10,413		18,577		17,350				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位	事業費(千円)				
		文化財指定登録候補物件の調査						3		件	350				
		角川邸動産資料の調査						2		件	8,050				
		その他 ()									0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	166.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	2,100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		文化財の指定登録を判断するのに必要な調査作成のための調査委託であり、今年度は3件に対して4つの調査委託を行った。また、角川邸動産資料については、図書類の目録作成及び内容調査と、絵画彫刻などの目録作成を含む一次調査を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和57年の杉並区文化財保護条例制定以来、区の指定登録候補について、高度な専門的知識を有する学識経験者に調査を委託している。また、候補物件によっては、多面的な調査が必要になるため、必要に応じて1つの物件に対して2件以上の調査委託を行い、より多角的かつ詳細なデータを残している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化に対する区民の関心の高まりに伴い、区の指定登録文化財への区民の関心も高まっている。					
	今後の予測	区の指定登録文化財は、ここ数年、毎年3～4件ずつ増加している。今後もこのペースで推移するものと予測される。しかし、文化財そのものが増えていくわけではないので、今後近代建築などこれまで省みられてこなかった文化財にも眼を向けていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高度の専門的知識を有する学識経験者による文化財調査は、区の文化財保護・活用に不可欠である。したがって、施策への貢献度は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: より効果的で、きめの細かい調査ができるよう検討を進め、職員やボランティアで対応できる部分は、職員等が行うことにより委託料を下げる努力をする。また、次年度以降の指定登録を円滑に行うための事前の予備調査も予算の範囲内で行っていく工夫をする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委託先は、高度の専門的知識を有する学識経験者であり、調査の水準を落とすことはできない。したがって、コストの低減を図ることは、困難な側面が強い。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 区の指定登録文化財にすることを前提とした調査委託である。調査については、高度な専門的知識・技術を必要とするもののため、文化財保護審議会委員等の学識経験者・技術者等に委託する。なお、ボランティアや職員が調査補助を行うことで、受託者の負担を軽くし、調査費を多少削減できる可能性はある。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 従来の文化財調査の水準を落とさず、より効果的で、きめの細かい調査は可能なのか、検討を進める。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高度の専門的知識を有する学識経験者への文化財調査委託であるため、コスト低減は困難な側面が強いが、より効果的で、きめの細かい調査はどのようにしたら可能なのか、検討を進めていく。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 指定登録候補等調査委託費は、単価・件数とも、変更を予定していないため。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		埋蔵文化財調査				整理番号	798		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	793				
係名					文化財係					上位施策名		No			
予算事業名					文化財調査・保護					コード		81400			
										文化・芸術活動の推進		65			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		43 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 文化財保護法								
	区内埋蔵文化財						(2) 杉並区文化財保護条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内で計画された建築・開発等行為について、窓口で問い合わせを受け、当該事業が埋蔵文化財に影響を及ぼすか否かを判断する。その際に必要に応じて当該文化財の保存・保護について指導・助言を行う。また、埋蔵文化財の調査が行われる場合には、その監督・指導を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)				(1) 埋蔵文化財包蔵地問合せ件数		(2) 埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 埋蔵文化財包蔵地問合せ件数の前年度増減比 (2) 埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数の前年度増減比							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	4,890		5,484		5,484		5,770		5,800	6,000	96.2	
	活動指標(2)		件	56		62		62		84		80	70	120.0	
	成果指標(1)		%	142		112		100		105		101	120	87.5	
	成果指標(2)		%	215		110		100		135		95	120	112.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0		880		2,000		2,000		2,010	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円												
	(内)委託費		千円	0		880		2,000		2,000		2,000			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	1.00	0.15	1.50	0.15	1.50	0.10	1.70	0.10			1.70
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799		1,365		1,359		906				906
		非常勤職員分		千円	2,759		4,320		4,335		4,913				4,913
	総事業費 + +		千円	4,558		6,565		7,694		7,819		7,829			
	単位あたりコスト(-)÷		円	932		1,197		1,403		1,355		1,350			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円			660		1,500		1,500				1,500
特定財源計 +		千円	0		660		1,500		1,500		1,500				
差引:一般財源 -		千円	4,558		5,905		6,194		6,319		6,329				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		埋蔵文化財調査立会い調査						60	件	0					
		埋蔵文化財試掘・確認調査						16	件	2,000					
		埋蔵文化財本調査						8	件	0					
		その他 ()								0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	105.2	活動指標(2)の17年度達成率%	135.5	17年度予算執行率%	100.0
		予算執行の伴う調査は、この事業のうち個人の専用住宅建設時の発掘調査や埋蔵文化財包蔵地範囲確認のための分布調査委託であり、昨年度の反省を踏まえ計画的に予算を執行できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		前年度と同様の計画で行なうが、分布調査も含めより多くの案件を取り扱っていく必要がある。また、今後事業数増加が見込めるが、発掘調査前の現地調べを徹底したうえで調査を計画することにより、個々の調査経費の節約が可能である。また、このことは調査成果の向上にも繋がるため、今後とも、調査方法の検討を含めて効果的に予算を執行できるように図る。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和43年に埋蔵文化財行政が始まった当初から埋蔵文化財の発掘調査は行われている。昨年度より、これまで実現が難しかった小規模開発に伴う調査も区ができるようになった。また係内OJTの結果、埋蔵文化財担当職員だけでなく全係員で窓口への膨大な問合せに適切に対応できるようになった。建築確認のルートに埋文確認を載せてもらえたため、窓口への問合せ件数が増加し、立会い及び発掘調査件数は引き続き増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	16年度から国及び都の補助金を活用することで個人の専用住宅等小規模開発の調査を区が対応することが可能となり、埋蔵文化財がより一層適正に記録できるようになった。係内OJTによる職員の能力向上によって窓口での問合せに適正に対応できている。これらのことが区民の信頼につながり、調査件数の増加などに現れているといえる。					
	今後の予測	窓口での埋蔵文化財包蔵地問合せ件数は引き続き増加傾向にあり、今後も増加すると予測される。建築工事などに伴う立会い件数は問合せ件数に比例して増加し、区による試掘・本調査件数も小規模開発に伴う調査が、問合せ件数に比例して増加することが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 本事業は文化財保護法により地方自治体の業務として規定されているものであり、これがなければ埋蔵文化財保護は保たれない。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 前年度の反省を踏まえ、17年度は計画的に調査を行うことができた。現状の予算、職員数ではこれがぎりぎりのところである。					
	成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 開発行為が増えているため、立会い調査・確認調査が増加している。これに対応するためには、埋蔵文化財担当者を増やす必要がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 埋蔵文化財は国民共有の財産であり、その意味で受益者は国民全体であり、個別の受益者を特定することはできない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 窓口での問合せ件数が急増しており、これに伴う当該事業の増加も見込める。調査の水準を下げるわけには行かないため、コストを下げることは不可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 現在文化財保護審議会で認められた専門家を団長とする調査団に本調査を任せ、区はその監督指導を行っている。調査の水準を一定のものとし、埋蔵文化財保護のために公正な調査を行うためにはこの方式であることが必要であるが、執行される予算の使い方を透明にするための指導が今後必要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 開発行為の増加に伴い、埋蔵文化財の調査は急増している。従って、今後の区内での開発事業の増加傾向を見据えながら、調査の水準を保つことを前提としながら、事業の計画・実施・成果の見直し等を繰り返すことにより、効率化を図る必要がある。また、行った埋蔵文化財調査の成果を公表するための報告書の刊行も含めた遺物整理も積極的に行ってゆく必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 予算の執行を伴う、個人が事業主である個人の専用住宅建設に関しての埋蔵文化財確認調査に対しては、事業費の75%が国及び都の補助金であるが、国及び都の財政事情が厳しい折、万が一この補助金が無くなった場合、区としてこれまでどおりのサービスが可能なのか否かという点で不安定材料が残る。 また、2名の非常勤で急増する調査に対応するには限界があり、職員の増が望まれる。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 本事業費は小規模開発に伴って区が直接行なう発掘調査に対して平成16年度より計上されたものであり、この部分に関しては平成16年度の実績から平成19年度についても現行のまま事業を推進していく。しかし件数増が見込まれるため、国・都の補助金の増加を要求すると同時に、区予算についても1.5倍程度の増加要求を考えている。同時に発掘された遺物の整理や、発掘の成果を公表するための報告書の刊行などを行っていく。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化活動				整理番号	821	枝番号					
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課	コード	600716	連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	814/816						
係名	社会教育センター	上位施策名				No							
予算事業名	文化活動	コード	82000	文化・芸術活動の推進				65					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第3条、第5条第1号・第11号・第15号 (2) 社会教育センター及び社会教育会館条例 (3) ユネスコ活動に関する法律								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区文化団体連合会及びその加盟団体、杉並ユネスコ協会、区民、各種社会教育団体				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民文化の創造や芸術に親しむ機会を設けると同時に社会教育団体を育成することにより地域で有用な活動を行う団体を育てる。又、日常生活の中にユネスコ平和思想を取り入れて、国際理解を深めて平和の文化を広げていく。								
	活動指標名(式) (1) 総合文化祭の延べ来場者数 (2) 事業実施回数(ユネスコ活動)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 総合文化祭延べ来場者数 ÷ 会場延べ定員 (2) ユネスコ活動参加人数								
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)	人	17,097		16,883		計画	実績	20,000	20,000	85.0		
	活動指標(2)	回	38		21		20	19	20	20	95.0		
	成果指標(1)	%	158		156		100	157	100	100	157.0		
	成果指標(2)	人	1,069		866		700	626	700	700	89.4		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,225		5,332		5,350		5,337		5,947	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標及び成果指標の数値は、15年度までは杉並ユネスコ協会の自主事業分も含めていたが、評価対象事務事業分類の更正(15年度社会教育団体事業活動助成)を行ったことから16年度より計上しないこととした。	
	(内)投資的経費等	千円											
	(内)委託費	千円											
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.70	0.20	1.35	0.34	1.17	0.00	2.03	0.80	2.30		0.50
	人件費	千円	15,290		12,285		10,600		18,392		20,838		
	非常勤職員分	千円	552		979		0		2,312		1,445		
	総事業費 + +	千円	21,067		18,596		15,950		26,041		28,230		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	1,232		1,101		798		1,532		1,412		
	財源	千円											
	国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +	千円	0		0		0		0		0			
差引: 一般財源 -	千円	21,067		18,596		15,950		26,041		28,230			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み	内 容				規模		単位	事業費(千円)					
	総合文化祭開催分担金				1		回	4,200					
	文化団体連合会補助金				1		回	350					
	ユネスコ活動分担金				1		回	787					
	その他 ()							0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	85.0	活動指標(2)の17年度達成率%	95.0	17年度予算執行率%	99.8
		ほぼ計画通り実施された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民の参加による「区民文化の日」を実施するとともに、区内のプロ作家による「美術作品展」を実施し区民芸術に親しむ機会を提供した。また、外国人を対象とした日本文化の理解のための催し等に協力した。ユネスコ活動では学校の求めに応じ、総合学習や部活動において「国際理解教育」「平和教育」を行った。団体育成については、新規の団体の育成に至らず、既存団体に対する支援が中心となった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和26年から「杉並区民文化祭」を開催している。ユネスコ活動としては、世界中で紛争が続く中、国境を越えた人々の交流は益々必要となっている。社会教育団体の活動は、区民の文化的志向の増大と区の文化向上施策とがマッチングして年々増加する傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	総合文化祭や文化団体連合会の運営を様々なジャンルに、より開かれたものとしていくことが求められている。学校教育での杉並ユネスコ協会への協力要請が増加している。高齢者の増加と区民の文化的欲求の高まりとともに共催事業の要望も高い。					
	今後の予測	総合文化祭のあり方について、全杉並区民の文化芸術の振興との関係でその意義や実施方法等が再検討されるべき時期が到来している。ユネスコ活動に関しては、より期待が大きくなっており、関連機関との直接的・間接的な事業協力は増加するものと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:文化団体と協働で事業実施することにより文化芸術活動の推進に協力している。また、平和都市宣言を行っている当区において、ユネスコ精神の普及啓発を通して平和を積極的に希求する意義は大きい。その中でも青年部の事業への取組みについては、他のユネスコ団体からの注目を集めている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:文化団体に限らない幅広い区民の参画により総合文化祭を開催していく。また、関係機関と杉並ユネスコ協会との連携を深めることでより充実したユネスコ活動を展開できる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:必要な部分については、既に受益者負担が実施されている。共催事業については、認定審査を厳格にすることにより、会場使用料等の受益者負担を減らすことができる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:文化祭等の実施に伴う補助金等については既に見直しを行っている。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題事業実施の主体はあくまでも民間市民組織であり、区は事業の補助的役割を担う。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区は補助的役割に徹し、文化団体との協働により文化協会とも連携を取りながら、多角的な事業の発展を図っていく必要がある。共催事業については、各団体が独自で事業実施できる能力を身につけられるよう自立を促しながら育成していくことが重要である。ユネスコ活動については、今後も引き続き学校教育との連携をとり自発的活動に対するサポートを行っていく。区の文化施策の強化を図ることを主眼に文化事業一元化のため、文団連事務局を文化協会に置くことが不可欠である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各団体が事業を計画するに当たって区の金銭的・人的補助が前提で事業を考えている。区の考える方向と団体の意思との調整が必要となる。また、区において、文化事業は事業ごとの個々の対応となっており、総合的にプロデュースする部署の存在が求められる。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 総合文化祭は、多くの区民が文化芸術に親しめる場として発展させていく。また、杉並公会堂を文化祭の会場として加えることにより、より多くの区民に文化芸術に親しむ機会を増やすことができる。各種共催事業は、共催基準を明確化し公平性の観点からあり方を再検討する時期が到来している。杉並文化村については、50回を迎えた18年6月で事業を終了している。ユネスコ活動については、団体が主体となった自発的な活動を推進していく中で連携を図りながら、より効果的な活動が展開できるよう支援を行っていく。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別展及び企画展の開催				整理番号	844		枝番号					
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131	連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	839				
係名				上位施策名				No						
予算事業名				郷土博物館運営管理		コード	82340		文化・芸術活動の推進		65			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民及び都民。区内小中学校の児童・生徒。				(1) 博物館法 (2) 杉並区郷土博物館条例 (3) 杉並区郷土博物館条例規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 年3回、各回1~2ヶ月程度にわたり、郷土にかかる内容の展示を行う。 資料収集や調査を行い、展示期間中には講演会や講座などの関連行事を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 展示を通して、区民が郷土の歴史文化への興味を抱くきっかけを提供する。 郷土の歴史文化面の研究を進める。									
	活動指標名(式) (1) 展示開催日数 (2) 図録作成数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 展示期間中入館者数 (2) (代) 館での図録配布数									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画	実績	計画	22年度				
指標	活動指標(1)		日	120		71		80	108	109				
	活動指標(2)		点	2		2		2	2	2				
	成果指標(1)		人	7,130		3,826		5,000	5,835	6,000				
	成果指標(2)		冊	2,274		914		1,000	574	580				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,846		5,300		7,966	4,404	7,716		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円	3,650		1,646		3,450	1,551	3,150				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.93	1.50	1.61	0.75	1.50	1.05	1.60	1.20		1.60	1.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	17,358		14,651		13,590	14,496	14,496			
		非常勤職員分		千円	4,139		2,160		3,035	3,468	3,468			
	総事業費 + +		千円	29,343		22,111		24,591	22,368	25,680				
	単位あたりコスト(-)÷		円	244,525		311,423		307,388	207,111	235,596				
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	29,343		22,111		24,591	22,368	25,680					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)			
			特別展開催(2回、観覧者数・延3,228人)						1	式	2,065			
			企画展開催(1回、観覧者数・2,607人)						1	式	2,339			
			その他								0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	135.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	55.3
	展示の質を落とさずに経費節減努力を行なった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	経費節減の努力を行なう。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成元年の開館当初より、年2～4回程度の企画展・特別展を開催している。 平成11年度より準常設展として「杉並文学館」を開始している。企画展・特別展の合間に開催している。 				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> 展示に関してはおおむね好評を得ている。今後の充実に対する期待として、講座等に比べ企画展・特別展に対するものが多い。 苦情は年々減少傾向にある。 				
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> 多様な質問内容に応え要望を満たすためにも、職員に、より専門的知識が必要である。特に地域博物館として区の歴史に詳しい人物を欠かすことが出来ない。人材育成。専門職員の採用方法が課題となる。 				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	理由： 展示や関連行事を通し、郷土の歴史文化に触れる機会を提供している。				
	貢献度 大(理由)					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	理由または具体的内容：				
	ある程度できる()					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 費用の問題よりも人材配置面での問題がある。専門性のある職員の配置によって現在の事業費でも成果をある程度向上させることは可能である。				
(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容： 「区民自らが区の歴史を理解し、明日の杉並を考える場」として設立された博物館の趣旨からすれば、誰もが利用できる条件として、特別展・企画展の観覧料を別途徴収せず、通常の観覧料のみとする現状は妥当である。					
ない(理由)						
(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容： 現在でも最低限の費用で展示会を開催している。					
ない(理由)						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	一部実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手	企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題			
	(3) 協働等の形態	委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	<ul style="list-style-type: none"> 展示パネル作成、宣伝用横断幕作成、ポスターなどの印刷物の作成等、可能なものは各種業者に委託している。 これまでどおり展示会の内容、調査研究については館職員が中心となっており、展示会を形作る上での必要な作業に関しては、各種業者に委託する形がもっとも望ましい。 			
今後の事業のあり方 (中長期)	成果：	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト：	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入				
	<ul style="list-style-type: none"> 今後も博物館設立の趣旨に照らし、展示を通して区民が郷土の歴史を理解し、明日の杉並を考える場の提供を行なっていく。 					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	<ul style="list-style-type: none"> 専門職員の採用を要求しているが、実現には至っていない。充実した博物館活動の運営には、高度な知識、技術、意欲を持つ学芸員の存在が必要不可欠である。今後も引き続き必要性を訴えていく。 					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	これまで同様、同規模の事業展開を継続の予定である。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		講座・教室の開催等				整理番号	845		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131	連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	840	
係名				上位施策名				No			
予算事業名				郷土博物館運営管理		コード	82340		文化・芸術活動の推進		65
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 博物館法						
	一般区民				(2) 杉並区郷土博物館条例						
					(3) 杉並区郷土博物館条例規則						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
郷土史講座(3回) 古文書講座(全4回) 親子体験教室(3回) 大宮前囃子実演(1回) 年中行事(端午節句、七夕、月見、餅つき、節分、雛祭り) 餅つきは町会の協力による) 子ども博物館教室(通年8回 小学4年生以上)				各種の講座、教室等を開催し、展示とは異なる形で郷土の歴史文化を理解する場を提供する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 開催件数				(1) 参加者数							
(2)				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画		実績					
指標	活動指標(1)	件	28	28	29		27		29		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	774	1,193	800		995		1,000		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	527	895	1,181		720		1,181	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円	0	0	0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.29 1.50	1.07 0.75	1.00 1.05	1.10 0.75	1.10	0.75			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,602	9,737	9,060		9,966			9,966
		非常勤職員分	千円	4,139	2,160	3,035		2,168			2,168
	総事業費 + +	千円	16,268	12,792	13,276		12,854		13,315		
	単位あたりコスト(-)÷	円	581,000	456,857	457,793		476,074		459,138		
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	16,268	12,792	13,276		12,854		13,315		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	親子体験教室(糸紡ぎ 延3回)				1	式	331				
	郷土史講座(講演「杉並の民家」 延3回)				1	式	202				
	伝統芸能実演(大宮前囃子、餅つき、節分等)				1	式	187				
	その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	93.1	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	61.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算のなかで、著名な講師に講演を依頼するなど、質の高い講座が開催できた。 この事業は、例年夏休み期間中に行なうことが多く、この期間には展示や実習生の受入、子ども博物館教室等の事業も集中する。年々、新規事業がこの期間中に増加していることから、今後年間の事業計画も見直す必要がある。 昨年と同様に、学校との連携強化のために、小中学校の新任教諭をボランティア研修として本格的に受け入れていく予定である。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年度より、教育改革アクションプランの一環として親子体験教室を開催している。他事業は開館当初より行っている。 					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> 講座参加者からは好評で、「満足」とのアンケート結果を得ている。 					
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした講座は定員割れ、大人を対象とするものは応募多数により抽選もしくは満員御礼の、相反した傾向にある。 より多くの市民に参加いただけるよう、開催講座内容を工夫し充実させていく必要がある。 					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 講座・教室・伝統芸能実演の実施は文化・芸術活動そのものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 著名な人物を講師として招くにはそれなりの費用が必要である。不足の分は職員が自ら行っているが、展示や資料収集、調査等を担当しつつ行うことには限度がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 現在古文書講座は教材費を負担していただいている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 講師謝礼は少額で受けてくださる方を探し、頼み込んでやっとなっていただいている状態。年中行事や講座の材料、道具の多くを職員が手作りしており、これ以上のコスト削減は難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 博物館事業の多くは指導が伴い、取り扱うものも貴重なものが多いため、職員や知識を有する学芸員の下に、区民が参加をする現在のあり方が理想的姿である。指導を行える職員、学芸員の確保、充実が今後より強く望まれる。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・ 博物館事業には常に指導が伴い、取り扱うものも貴重なものが多い。職員や知識を有する学芸員の下に区民が参加をするあり方、かつ効率的な方法を検討し、今後の講座開催に生かしていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 望ましい事業展開には専門学芸員の配置が不可欠である。必要性を今後も強く訴えていく。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 ・ これまで同様の、同規模の事業を継続していく予定。							